



町の財政状況

平成29年度前期の財政状況を公表します

町は、町民の皆さんに町の財政がどのように運営されているかを広く知っていただくために、年2回、財政状況の公表を行います。

今回は、平成29年度前期分(平成29年4月～9月)の一般会計と特別会計の歳入(町に入ってきたお金)、と歳出(町が使ったお金)の状況を公表します。

一般会計予算歳入歳出の状況 (平成29年9月30日現在)

◆歳入				◆歳出				
款別	予算現額	収入額(収入割合)	款別	予算現額	支出済額(支出割合)			
町税	9億7,716万円	5億6,845万円(58.2%)	議会費	7,677万円	4,038万円(52.6%)			
地方譲与税	6,352万円	1,761万円(27.7%)	総務費	10億575万円	3億1,143万円(31.0%)			
利子割交付金	98万円	52万円(53.1%)	民生費	22億8,595万円	6億8,262万円(29.9%)			
配当割交付金	212万円	38万円(17.9%)	衛生費	17億6,033万円	2億9,939万円(17.0%)			
株式等譲渡所得割交付金	97万円	0万円(0.0%)	労働費	909万円	309万円(34.0%)			
地方消費税交付金	2億2,000万円	1億490万円(47.7%)	農林水産業費	2億5,203万円	5,990万円(23.8%)			
自動車取得税交付金	500万円	384万円(76.8%)	商工費	1億4,929万円	7,299万円(48.9%)			
地方特例交付金	192万円	582万円(303.7%)	土木費	49億3,649万円	1億7,024万円(3.4%)			
地方交付税	128億5,779万円	22億5,753万円(17.6%)	消防費	6億4,188万円	2億8,201万円(43.9%)			
交通安全対策特別交付金	76万円	52万円(68.7%)	教育費	6億5,004万円	2億2,394万円(34.5%)			
分担金及び負担金	13億3,480万円	1,459万円(1.1%)	災害復旧費	8億9,644万円	2億3,440万円(26.1%)			
使用料及び手数料	1億2,491万円	5,367万円(43.0%)	公債費	6億5,009万円	2億7,354万円(42.1%)			
国庫支出金	40億4,798万円	2億87万円(5.0%)	諸支出金	5,250万円	350万円(6.7%)			
県支出金	16億490千円	5,801万円(3.6%)	予備費	2,522万円	0万円(0.0%)			
財産収入	10億6,122万円	7,295万円(6.9%)	復興費	478億1,395万円	175億4,625万円(36.7%)			
寄附金	1億1,635万円	7,450万円(64.0%)	合計	612億582万円	202億368万円(33.0%)			
繰入金	365億947万円	200億円(54.8%)	収入支出差引残高	44億8,179万円				
繰越金	6億544万円	12億381万円(198.8%)						
諸収入	3億3,418万円	4,750万円(14.2%)						
町債	13億3,635万円	0万円(0.0%)						
合計	612億582万円	246億8,547万円(40.3%)						

(注) 表の歳入、歳出の各予算現額は、平成29年度の予算現額に平成28年度からの繰越分(繰越明許費繰越額)を含めた額です。

特別会計予算歳入歳出の状況 (平成29年9月30日現在)

会計名	予算現額	収入額(収入割合)	支出額(支出割合)
国民健康保険	22億1,787万円	8億229万円(36.2%)	9億8,020万円(44.2%)
下水道事業	66億36万円	3,331万円(0.5%)	2億4,776万円(3.8%)
漁業集落排水処理事業	18億8,501万円	2,904万円(1.5%)	6,247万円(3.3%)
介護保険	14億2,370万円	6億278万円(42.3%)	5億7,222万円(40.2%)
後期高齢者医療	1億2,152万円	3,447万円(28.4%)	2,527万円(20.8%)
合計	122億4,846万円	15億189万円(12.3%)	18億8,792万円(15.4%)
収入支出差引残高	△3億8,603万円		

※予算現額は、平成29年度予算総額に平成28年度からの繰越分(繰越明許費繰越額)を含めた額です。

9月30日 オリンピックデーフェスタ 6人のオリンピックたちと交流

オリンピックを経験した選手の皆さんとスポーツを通して交流する、オリンピックデーフェスタが9月30日、城山公園体育館で開催されました。町内からは8歳から84歳までの幅広い年齢層が参加し、元バレーボール日本代表の大山加奈さんや、競泳の中村真衣さんらとともに、チームに分かれ金メダルを目指して競いました。

競技は、手つなぎ鬼、デカパン競争、大玉転がし、綱引きが行われ、参加者は世代を超え力を合わせて戦い、会場は笑顔と歓声で沸きました。競技後には、選手とのトークや、実際にメダルを見せてもらうなどして交流しました。



10月7日 「おしゃっち」上棟式 餅まきと現場見学会を開催



(仮称) 御社地エリア復興拠点施設「おしゃっち」の上棟式が開催され、10月7日、町長はじめ工事関係者らが神事に出席しました。現場見学会に訪れた一般参加者は、建物内に組み込まれる記念の板に署名し、餅まきに参加しました。平野町長はあいさつで、「施設は作る事が目的ではなく、建ててからこそが大事。親しまれる場所に」と思いを述べました。



10月15日 20年後の大槌のために～大槌教育未来会議～

10月15日、大槌学園において、大槌教育未来会議が開催されました。この会議は、おおつち型教育プロジェクトの一環として開かれ、事例発表や、文部科学大臣補佐官の鈴木寛氏の講演が行われました。事例発表では、地区子ども会、部活動、郷土芸能の三つのテーマについて、震災前の状況や現状、成果や課題などが発表されました。発表の中で、大槌・吉里吉里学園野球部の生徒は、部活動を通してどんなことを学びたいか?との質問に、「みんなに信頼される人、必要とされる人になりたい」と回答し、これに対し講師の鈴木氏は、「言われたことをちゃんとやるだけの仕事は、人間ではなくコンピュータの仕事になっていく。“コンピテンシー(役割を任せてもらえる力)”を、社会や企業などは今求めている。これを中学生が肌で感じてわかっていることは素晴らしい」と話しました。

会議ではその後も「子供の事なら大人は心を1つにできる」「昔から、厳しい時を乗り越えて地域がまとまってきた」など活発な意見交換がされ、会場は大変盛り上がり、「定期的に関わりたい」との声と拍手の中、幕を閉じました。

